

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	松本 優 (まつもと ゆう)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	大学院人間科学研究科修士課程 1 年
発表年月 または事業開催年月	2024 年 11 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本健康心理学会第 37 回大会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	松本優, 黒田翔子, 西中宏吏, 嶋田洋徳
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	従事する種目の差異による特徴に応じた 問題性の高いギャンブル行動の機能的理解の試み
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>ギャンブル行動を制限する、または中断しようと努力しても、失敗に終わってしまうといった、ギャンブル行動に関連した問題を抱えるのがギャンブル行動症の特徴であり、問題性の高いギャンブル行動の背景には、心理社会的要因が関与しているとされる。ギャンブル行動の維持については、認知行動療法 (以下、CBT) における機能の観点が重要であるとされている。したがって、問題性の高いギャンブル行動を臨床上の問題として扱う際は、ギャンブル行動の維持させる要因と、ギャンブル行動の機能を特定することが重要である。また、ギャンブル行動の対象となる種目は、パチンコや競馬など多岐にわたるため、ギャンブル行動を一括りにして臨床上の問題とするのではなく、種目ごとの特徴を考慮して、実証的な研究を行うことが求められる。</p> <p>本研究においては、ギャンブル種目ごとの特性について言及し、問題性の高いギャンブル行動の維持に影響を及ぼす心理社会的要因について概観する。さらに、問題性の高いギャンブル行動の維持メカニズムを機能的に理解することを目的とする。</p>	

※無断転載禁止